

## 9. 市場事業

### I 概要及び沿革

市場事業は、開設者が卸売業者及び仲卸売業者等から使用料を徴収し、卸売取引を行わせる事業であり、地方公共団体が行うものとしては、卸売市場法第5条の規定により農林水産大臣が定めた中央卸売市場整備計画に基づいて開設される中央卸売市場と、同法第6条の規定により都道府県知事が定めた都道府県卸売市場整備計画に基づいて開設される地方卸売市場がある。

卸売市場については、従前、大正12年に制定された中央卸売市場法によって、拠点的な中央卸売市場についてのみ整備が行われてきたが、流通をめぐる諸条件の変化に対応し、中央卸売市場及び地方卸売市場を通じる市場流通の組織的な整備を促進するため、新たに中央卸売市場以外の卸売市場も法律の対象とする卸売市場法が昭和46年に制定された。

卸売市場の整備については、平成16年6月の卸売市場法の改正により、卸売市場整備基本方針に安心・安全への対応、卸売市場の再編、最適流通の実現が盛り込まれた。その方針を踏まえ、中央卸売市場整備計画及び都道府県卸売市場整備計画が策定され、平成17年度を初年度とする第8次計画により計画的な整備が図られている。なお、卸売市場整備基本方針は、平成22年10月に第9次の基本方針が策定され、その方針を踏まえ、平成23年度を初年度とする第9次の中央卸売市場整備計画が平成23年3月に策定されている（目標年度平成27年度）。

市場事業については、現行制度上地方公営企業法の規定は当然には適用されず、条例で定めるところによりその全部または一部を適用することができる。

### II 現状と課題

#### 1. 現状

第9次卸売市場整備基本方針において、卸売市場が最近の情勢の変化に適確に対応し、その機能を十全に発揮していく観点から見直しが行われたところであり、現在、各卸売市場において具体的な取組が進められている。

#### 2. 課題

第9次卸売市場整備基本方針に基づき、①コールドチェーンシステムの確立をはじめとした生産者及び実需者のニーズへの的確な対応、②公正かつ効率的な取引の確保、③食の安全や環境問題等の社会的要請への適切な対応、④卸売市場間の機能・役割分担の明確化による効率的な流通の確保（中央拠点市場を核とした効率的な流通ネットワークの構築）、⑤卸売業者及び仲卸業者の経営体質の強化、⑥経営戦略的な視点を持った市場運営の確保を基本とし、その整備及び運営を行っていく必要がある。

### Ⅲ 平成26年度決算の概況

#### 1. 事業数及び経営主体

平成26年度において地方公共団体が経営する市場事業の数は164事業（法適用企業14事業、法非適用企業150事業）で、前年度の167事業（法適用企業14事業、法非適用企業153事業）に比べ3事業減少している。経営主体別にみると、都道府県営10事業（前年度同数）、指定都市営18事業（前年度同数）、市営116事業（前年度118事業）、町村営9事業（前年度10事業）及び一部事務組合営11事業（前年度同数）となっている。（第1表）

第1表 市場事業の事業数

経営主体	区分	25	26			対前年度増減
			法適用	法非適用	計	
都道府県		10	2	8	10	-
指定都市		18	3	15	18	-
市		118	9	107	116	△2
町村		10	-	9	9	△1
一部事務組合		11	-	11	11	-
計		167	14	150	164	△3

#### 2. 業務の状況

市場事業の施設数は214施設（法適用企業26施設、法非適用企業188施設）で、前年度（216施設）に比べ2施設減少している。

市場事業の年間取扱高は1,370万tで、前年度（1,377万t）に比べ7万t、0.5%減少しており、年間売上高は4兆8,649億円で、前年度（4兆7,400億円）に比べ1,250億円、2.6%増加している。（第2表）

第2表 市場事業の施設及び業務概況

種別	区分	25			26			増減		
		法適用	法非適用	計(A)	法適用	法非適用	計(B)	(B)-(A) (C)	(C)/(A) ×100(%)	
施設 数	中央卸売市場	21	47	68	20	45	65	△3	△4.4	
	地方卸売市場	5	143	148	6	143	149	1	0.7	
	合計	26	190	216	26	188	214	△2	△0.9	
業務 概況	(1)敷地面積(千㎡)	2,770	10,416	13,186	2,780	10,386	13,166	△20	△0.2	
	(2)延施設面積(千㎡)	2,675	7,219	9,894	2,677	7,170	9,848	△47	△0.5	
	うち	卸売場面積(千㎡)	423	1,325	1,748	423	1,322	1,745	△3	△0.2
		仲卸売場面積(千㎡)	211	442	654	211	444	656	2	0.3
		駐車場面積(千㎡)	1,036	3,031	4,066	1,036	2,987	4,023	△44	△1.1
	(3)年間取扱高(千t)	5,267	8,504	13,770	5,206	8,495	13,701	△70	△0.5	
	うち	野菜(千t)	3,020	4,434	7,454	3,018	4,404	7,422	△32	△0.4
		果実(千t)	989	1,361	2,350	980	1,346	2,326	△24	△1.0
		水産物(千t)	1,047	2,175	3,222	1,008	2,220	3,228	6	0.2
	(4)年間売上高(億円)	20,349	27,051	47,400	21,012	27,638	48,649	1,250	2.6	
うち	野菜(億円)	6,649	8,922	15,570	6,713	8,901	15,615	44	0.3	
	果実(億円)	3,221	3,960	7,182	3,334	4,039	7,373	192	2.7	
	水産物(億円)	9,069	11,982	21,051	9,428	12,406	21,835	784	3.7	

(注) 地方卸売市場の施設数には、水産物流通加工施設等を法非適用に1施設含む。

### 3. 市場事業の経営状況

法適用企業と法非適用企業を合わせた市場事業の収支の状況をみると、平成20年度以降黒字となっていたが、平成26年度は赤字となっている。

黒字事業は全163事業（建設中の事業を除く）の96.3%に当たる157事業で、前年度（160事業）に比べ3事業減少しているが、黒字額は35億39百万円で、前年度（32億30百万円）に比べ3億9百万円、9.6%増加している。また、赤字事業は全事業の3.7%に当たる6事業で、前年度同数であり、赤字額は51億35百万円で、前年度（15億70百万円）に比べ35億65百万円、227.0%増加している。

この結果、市場事業全体の収支は、前年度16億60百万円の黒字から32億56百万円減少して、15億96百万円の赤字となった。（第3表）

また、他会計繰入金の収益的収入に占める割合は18.2%、資本的収入に占める割合は18.1%となっている。

第3表 全体の経営状況

(単位：事業、百万円)

年度 項目	25 (A)			26 (B)			増減額 (B)-(A)		
	法適用	法非適用	合計	法適用	法非適用	合計	法適用	法非適用	合計
(事業数)	(10)	(150)	(160)	(9)	(148)	(157)	(△1)	(△2)	(△3)
黒字額	743	2,487	3,230	515	3,024	3,539	△228	536	309
(事業数)	(4)	(2)	(6)	(5)	(1)	(6)	(1)	(△1)	(-)
赤字額	1,498	73	1,570	5,083	52	5,135	3,585	△20	3,565
(事業数)	(14)	(152)	(166)	(14)	(149)	(163)	(-)	(△3)	(△3)
収支	△755	2,415	1,660	△4,568	2,971	△1,596	△3,813	557	△3,256

(注)1. 事業数は、決算対象事業数（建設中のものを除く）である。

2. 黒字額、赤字額は、法適用企業にあっては純損益、法非適用企業にあっては実質収支による。

#### 4. 法適用企業の経営状況

##### (1) 損益収支の状況

###### ア 純損益

平成26年度における総収益は351億86百万円で、前年度（311億79百万円）に比べ40億6百万円、12.8%増加しており、総費用は397億53百万円で、前年度（319億34百万円）に比べ78億19百万円、24.5%増加している。この結果、純損益は45億68百万円の赤字で、前年度（7億55百万円の赤字）に比べ赤字額が38億13百万円増加している。

純利益を生じた事業は全事業14事業の64.3%に当たる9事業（前年度10事業）で、その額は5億15百万円（前年度7億43百万円）となっている（2億28百万円、30.7%減少）。一方、純損失を生じた事業は全事業の35.7%に当たる5事業（前年度4事業）で、その額は50億83百万円（前年度14億98百万円）となっている（35億85百万円、239.4%増加）。

また、総収支比率は88.5%で、前年度（97.6%）に比べ9.1ポイント低下している。

###### イ 経常損益

平成26年度における経常収益は337億70百万円で、前年度（311億79百万円）に比べ25億91百万円、8.3%増加しており、経常費用は346億4百万円で、前年度（317億49百万円）に比べ28億55百万円、9.0%増加している。

この結果、経常損益は8億34百万円の赤字で、前年度（5億69百万円の赤字）に比べ、赤字額が2億64百万円増加している。

経常利益を生じた事業は全事業の71.4%に当たる10事業（前年度同数）で、その額は6億30百万円（前年度9億28百万円）となっている（2億99百万円、32.2%減少）。一方、経常損失を生じた事業は全事業の28.6%に当たる4事業（前年度同数）で、その額は14億64百万円（前年度14億98百万円）となっている（34百万円、2.3%減少）。

また、経常収支比率は97.6%と前年度（98.2%）に比べ0.6ポイント低下しており、経常損失比率は5.7%で、前年度（5.9%）に比べ0.2ポイント低下している。

###### ウ 累積欠損金・不良債務

累積欠損金は546億53百万円で、前年度（581億57百万円）に比べ35億4百万円、6.0%減少している。累積欠損金を有する事業は7事業で、事業数に占める割合は50.0%で、前年度と同数（50.0%）となっている。

また、累積欠損金比率は212.8%で、前年度（227.7%）に比べ14.9ポイント低下している。

不良債務は14億50百万円で、前年度（29億55百万円）に比べ15億4百万円、50.9%減少している。不良債務を有する事業は2事業で、前年度（1事業）に比べ1事業増加しており、事業数に占める割合は14.3%で、前年度（7.1%）に比べ7.2ポイント上昇している。また、不良債務比率は5.6%で、前年度（11.6%）に比べ6.0ポイント低下している。（第4表）

###### エ 資本不足

前年度同様、資本不足となっている事業はない。

第4表 市場事業の経営状況の推移（法適用企業）

（単位：百万円、％）

項目	年度		22	23	24	25	26	(B)-(A)
						(A)	(B)	(A)
総収益			40,153	33,308	31,524	31,179	35,186	12.8
経常収益			32,582	33,308	31,524	31,179	33,770	8.3
営業収益			27,203	26,702	25,107	25,542	25,685	0.6
うち	〔	料金収入	21,716	21,397	19,928	20,005	20,002	△0.0
他会計負担金		-	-	-	-	-	-	-
他会計補助金			4,506	5,832	5,029	4,376	4,306	△1.6
国庫（県）補助金			9	18	9	-	7	皆増
長期前受金戻入			-	-	-	-	2,657	皆増
特別利益			7,571	0	0	0	1,415	1,645,654.7
総費用			35,166	33,714	32,330	31,934	39,753	24.5
経常費用			32,955	33,640	32,324	31,749	34,604	9.0
営業費用			29,869	29,446	28,990	29,131	31,722	8.9
うち	〔	職員給与費	6,305	5,997	5,596	5,450	5,620	3.1
減価償却費		10,528	10,174	10,410	9,902	12,402	25.2	
支払利息			2,815	2,575	2,401	2,191	1,961	△10.5
特別損失			2,211	74	5	186	5,149	2,674.7
経常損益			△373	△332	△800	△569	△834	△46.5
経常利益			(10) 1,163	(10) 741	(10) 787	(10) 928	(10) 630	△32.2
経常損失			(4) 1,536	(4) 1,073	(4) 1,588	(4) 1,498	(4) 1,464	△2.3
特別損益			5,360	△74	△5	△185	△3,734	△1,913.0
純損益			4,987	△407	△806	△755	△4,568	△505.1
純利益			(10) 6,547	(10) 741	(10) 782	(10) 743	(9) 515	△30.7
純損失			(4) 1,559	(4) 1,147	(4) 1,588	(4) 1,498	(5) 5,083	239.4
累積欠損金			(8) 55,833	(8) 56,437	(7) 57,476	(7) 58,157	(7) 54,653	△6.0
不良債務			(2) 9,380	(2) 6,678	(1) 4,939	(1) 2,955	(2) 1,450	△50.9
総事業数			14	14	14	14	14	-
うち建設中			-	-	-	-	-	-
経常収支比率			98.9	99.0	97.5	98.2	97.6	-
総収支比率			114.2	98.8	97.5	97.6	88.5	-
総事業数	経常損失を生じた事業数		28.6	28.6	28.6	28.6	28.6	-
（建設中を除く）	純損失を生じた事業数		28.6	28.6	28.6	28.6	35.7	-
に対する割合	累積欠損金を有する事業数		57.1	57.1	50.0	50.0	50.0	-
	不良債務を有する事業数		14.3	14.3	7.1	7.1	14.3	-
営業収益に対する割合	経常損失比率		5.6	4.0	6.3	5.9	5.7	-
	累積欠損金比率		205.2	211.4	228.9	227.7	212.8	-
	不良債務比率		34.5	25.0	19.7	11.6	5.6	-

（注）（ ）書は事業数で建設中の事業を除いた数である。

(2) 資本収支の状況

法適用企業の資本的支出は654億31百万円で、前年度（621億33百万円）に比べ32億98百万円、5.3%増加している。このうち建設改良費は540億76百万円で、前年度（525億72百万円）に比べ15億4百万円、2.9%増加、企業債償還金は113億6百万円で、前年度（95億11百万円）に比べ17億94百万円、18.9%増加している。

これに対する財源は、外部資金が492億42百万円で、前年度（474億61百万円）に比べ17億81百万円、3.8%増加、内部資金が155億3百万円で、前年度（142億75百万円）に比べ12億28百万円、8.6%増加している。財源不足額は6億85百万円で、前年度（3億97百万円）に比べ2億88百万円、72.5%増加している。（第5表）

第5表 市場事業の資本収支の状況の推移（法適用企業）

(単位：百万円、%)

項目	年度	22	23	24	25	26	(B)-(A)
					(A)	(B)	(A)
資本的支出	建設改良費	122,089	12,759	20,158	52,572	54,076	2.9
	企業債償還金	10,669	10,408	9,541	9,511	11,306	18.9
	(うち建設改良のための企業債償還金)	10,242	9,839	7,814	7,830	7,761	△0.9
	その他	91	1,653	97	50	50	△0.6
	計	132,850	24,820	29,796	62,133	65,431	5.3
同部資金のうち	内部資金	53,246	11,022	12,407	14,275	15,503	8.6
	外部資金	78,804	13,293	16,536	47,461	49,242	3.8
	企業債	64,787	8,335	10,814	43,890	39,605	△9.8
	(うち建設改良のための企業債)	62,405	5,708	8,156	40,928	36,940	△9.7
	他会計出資金	2,553	3,180	3,213	3,313	3,345	1.0
	他会計負担金	-	-	-	-	-	-
	他会計借入金	-	-	-	-	-	-
	他会計補助金	216	134	85	82	74	△10.7
	国庫(県)補助金	658	942	766	17	5,984	34,136.2
	翌年度繰越財源充当額(△)	-	-	-	-	-	-
	計	132,050	24,315	28,943	61,736	64,746	4.9
	(実質財源不足額)	(799)	(505)	(853)	(397)	(685)	(72.5)
	財源不足額	799	505	853	397	685	72.5

(注)1. 内部資金=補填財源合計額-前年度からの繰越工事資金+固定資産売却代金

2. 外部資金=資本的支出額-(内部資金+財源不足額)

3. (実質財源不足額)とは、当該年度同意等債で未借入又は未発行のものうち、支出済として決算された事業費に対応する分を控除した場合の不足額である。

## 5. 法非適用企業の経営状況

### (1) 収益的収支の状況

法非適用企業の収益的収支のうち総収益は484億43百万円で、前年度(534億59百万円)に比べ50億16百万円、9.4%減少している。一方、総費用は399億86百万円で、前年度(411億13百万円)に比べ11億27百万円、2.7%減少している。

### (2) 資本的収支の状況

法非適用企業の資本的支出は362億98百万円で、前年度(370億85百万円)に比べ7億87百万円、2.1%減少している。このうち建設改良費は195億12百万円で、前年度(199億45百万円)に比べ4億33百万円、2.2%減少している。また、地方債償還金は158億86百万円で、前年度(160億1百万円)に比べ1億15百万円、0.7%減少している。

これに対する資本的収入は311億26百万円で、前年度(245億65百万円)に比べ65億61百万円、26.7%増加している。このうち地方債が144億50百万円で、前年度(73億30百万円)に比べ71億20百万円、97.1%増加している。

### (3) 実質収支

実質収支をみると、黒字の事業は148事業(前年度150事業)で、黒字額は30億24百万円(前年度24億87百万円)となっている(5億36百万円、21.6%増加)。一方、赤字の事業は1事業(前

## 第2章 9 市場事業

年度2事業)で、赤字額は52百万円(前年度73百万円)となっている(20百万円、27.9%減少)。(第6表)

第6表 市場事業の経営状況の推移(法非適用企業)

(単位:百万円、%)

項目	年度	22	23	24	25	26	(B)-(A)
					(A)	(B)	(A)
収益的 収支	総収益	51,156	50,925	50,086	53,459	48,443	△9.4
	営業収益	34,614	32,893	33,570	37,358	33,850	△9.4
	うち料金収入	29,020	27,325	27,441	27,330	27,648	1.2
	他会計繰入金	9,893	10,059	9,280	8,856	9,757	10.2
	総費用	42,947	42,258	41,395	41,113	39,986	△2.7
	営業費用	33,358	32,794	32,439	32,619	34,068	4.4
	うち職員給与	9,515	9,287	8,708	8,444	8,310	△1.6
	収支差引	8,209	8,666	8,691	12,346	8,456	△31.5
資本的 収支	資本的収入	24,517	27,599	26,195	24,565	31,126	26.7
	地方債	9,725	8,327	9,674	7,330	14,450	97.1
	他会計繰入金	11,845	14,350	11,288	12,036	11,130	△7.5
	資本的支出	30,178	33,934	34,976	37,085	36,298	△2.1
	建設改良費	12,495	16,943	17,102	19,945	19,512	△2.2
	地方債償還金	16,966	16,200	17,173	16,001	15,886	△0.7
	収支差引	△5,660	△6,335	△8,781	△12,521	△5,172	58.7
実質収支	黒字	2,438	3,241	2,433	2,487	3,024	21.6
	赤字	1,523	544	65	73	52	△27.9
収益的収支比率	$\frac{(a)}{(c)+(d)} \times 100$	85.4	87.1	85.5	93.6	86.7	-
赤字比率	$\frac{(e)}{(b)} \times 100$	4.4	1.7	0.2	0.2	0.2	-
事業数		161	156	154	153	150	△2.0
うち建設中		1	1	1	1	1	-
収益的収支で赤字を生じた事業数		18	23	17	20	11	△45.0
実質収支で赤字を生じた事業数		5	5	3	2	1	△50.0

(注) 営業収益は受託工事収益を除いたものである。

### 6. 料金収入の状況

料金収入は476億51百万円(法適用企業200億2百万円、法非適用企業276億48百万円)で、前年度473億35百万円(法適用企業200億5百万円、法非適用企業273億30百万円)に比べ3億16百万円、0.7%増加している。

### 7. 他会計繰入金の状況

他会計繰入金は297億66百万円(法適用企業88億79百万円、法非適用企業208億87百万円)で、前年度286億63百万円(法適用企業77億71百万円、法非適用企業208億93百万円)に比べ11億3百万円、3.8%増加している。収益的収入への繰入金は152億18百万円(法適用企業54億60百万円、法非適用企業97億57百万円)で、前年度132億32百万円(法適用企業43億76百万円、法非適用企業88億56百万円)に比べ19億86百万円、15.0%増加している。また、資本的収入への繰入金は14

5億49百万円（法適用企業34億19百万円、法非適用企業111億30百万円）で、前年度154億31百万円（法適用企業33億95百万円、法非適用企業120億36百万円）に比べ8億82百万円、5.7%減少している。

#### 8. 経営健全化の状況

平成20年度から施行された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」では、資金不足比率が20%以上となる公営企業会計には経営健全化計画の策定が義務付けられている。市場事業においては、1会計（前年度同数）が対象となっている。